

第23回田村市地域創生総合戦略会議 事前意見・質問への回答一覧

資料No.3

No.	基本目標	施策名	担当課	質問／意見	意見・質問	回答
1	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	質問	「エコノミックガーデニング」の手法を用いるとありますが、具体的にどのような手法ですか。	エコノミックガーデニングは、地域経済を「庭」に見立て、企業を「植物」として、行政や経済団体・金融機関等は「水」や「肥料」となって土壌を作り、緑豊かな庭づくり＝活躍しやすいビジネス環境を創出し、地元の意欲のある企業を大切に育てることにより、地域経済の活性化させる政策です。市では、産学官金が連携した合議体である田村市エコノミックガーデニング本会議及び実務者会合からの施策提案や中小企業が抱える専門課題に対し横断的かつ一貫した支援体系で具現化することで地域経済の活性化に努めています。
2	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	質問	地域のお店が少なくなっている地域に住みにくくなっています。過疎地域のお店が少しでもそこで長く続けていけるような支援はないのですか。	地域の商店は、住民の日常生活を支える重要な役割を担っていることから、店舗が継続して営業できるような支援は重要と考えています。田村市では、空き店舗活用支援や創業支援、事業承継に関する支援のほか、中小企業診断士派遣事業や中小企業等経営強化に関する取組を通じて、地域事業者の経営課題を支援しています。今後も、地域の実情や店舗の状況に応じて、よりきめ細やかな支援のあり方を検討するとともに、関係機関と連携しながら、地域で事業を続けやすい環境づくりに努めていきます。
3	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	質問	緊急新規雇用・離職者対策事業は田村市内に所在するすべての中小企業、社員（正・非正規）が対象となるのでしょうか。	対象事業所は、中小企業基本法に規定する事業者で市内で3年以上事業を継続しており、他施策で支援する介護・福祉事業所を除く事業者が対象となります。対象雇用者は、常勤の雇用形態で30歳未満であり、雇用開始から3年未満などの要件合致する社会保険に加入する常勤の雇用形態の方です。
4	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	意見	進出した企業から地元企業に下請けの仕事が多数発注されることが重要であり、その観点から、誘致する企業を選定することが必要。KPIIには、市外の企業への営業活動件数を盛り込むことも必要ではないか。	既存の市内企業と連携し、市内の経済の循環に寄与することも含め活動を行っております。また、市では毎年、異業種ビジネス交流会を開催し、新たに誘致した企業や市内企業の協業や連携等のビジネスマッチング及び企業展示ブースやプレゼンテーション機会の創出を図り、商談件数や売上比率の把握に努めていることから、現時点ではKPIIとして市外企業との営業活動件数を加えることは考えておりません。
5	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	意見	新規雇用に対する支援金受給者に対しては、仕事面のフォローを目的として、定期的に仕事に対する悩みなどアンケートを取り、経営者等に内密にフィードバックし、解決可能なことであれば策を講ずる。アンケート結果がこうだったからとは、本人に言わないことが大切。	新規雇用企業等支援事業の受給者に対しては、当該事業の活用に関するアンケート等の調査の実施を検討しており、いただいたご意見についても今後の調査実施に向けた参考とさせていただきます。
6	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	意見	遊休公的施設の企業誘致では、事業計画、事業実態をできるだけ調査し誘致する。小規模で事業実態が無く、稀に犯罪（作成した預金口座を売買する等）に手を染めてしまう事業者もいる。	企業が立地を計画する際には、企業から提出される立地計画書に基づき、事業内容や資金計画を確認するとともに、信用調査や担当による企業訪問やヒアリング、また補助金を活用する際には国や県との情報共有など、企業調査を厳正に行った上で立地協定を締結するなど、企業側の要望に寄り添いつつも市の利益を最優先に考え誘致活動を行っています。
7	1地方に仕事をつくる	1 中小企業及び小規模事業者支援	商工課	意見	田村市が取り組んでいる人材育成塾は、他市町村にはない貴重な取り組みなので今後も継続して取り組んでほしい。	人材育成塾については、第10期をもって終了となりましたが、市が実施してきた産業人材育成塾の卒業生（以下「卒業生」という。）などの地域産業リーダーが中心となり、卒業生同士や卒業生と他の事業者等との連携、更には卒業生に限らず、市内の起業家や事業者による事業の発展及び新たな事業を創出し、他の事業者等を巻き込みながら地域産業の成長を図ることを目的に、地域企業イノベーション創出事業を展開いたします。
8	1地方に仕事をつくる	2 起業支援	商工課	質問	空き店舗の活用を促進するのは重要だが、地域課題解決に具体的に貢献してくれるような起業家を呼び込む取組も必要ではないか。	本年度、新規事業として実施している地域企業イノベーション創出事業を通じて、市内での起業や事業拡大を後押ししています。事業実施にあたっては、起業家や支援機関との連携を図り、地域課題の解決につながる事業の創出を促していきます。今後も、空き店舗の活用を含め、地域に根ざした企業支援を進めていきます。
9	1地方に仕事をつくる	2 起業支援	商工課	質問	スタートアップ補助金および空き店舗活用支援事業はとても意義のある支援だと思っています。どのような成果があったのかを知りたいので、支援を受けた4件の事業者について、それぞれどのような事業を行っているのか、概要をご紹介いただきたいです。あわせて、制度を運用する中で見えてきた課題なども教えていただければ幸いです。	スタートアップ支援事業の2件は、「コーヒー豆販売事業及びキッチンカーを利用した飲食コミュニティスペースの運営」、「都路の子供たちの想いを未来へ伝えるオリジナルジャム製造・販売」です。商店街にぎわい事業補助金の2件は、「飲食店の新規創業」「障がい者の社会参加や地域参画を進める事業」です。課題としては、創業後1年を経過した事業者への支援のあり方についても、事業の実績や課題、ニーズを踏まえ、今後検討していきます。
10	1地方に仕事をつくる	3 農業振興	農林課	意見	田村市内でのブランド認証品の認知度向上のためのPRイベントを定期的に行ってみてはいかがでしょうか。	田村市ブランド認証品「極」の認知度向上のため、県内においては、「たむらうまいものフェア」を開催しており、また、首都圏では福島県産産館でのイベント開催や、風評払拭を目的としたPR活動を実施しております。市内においても、「極」製品を取り扱っている店舗も多く、ふあせるたむらでは、「極」製品のコーナーを設置するなど認知向上にご協力頂いているところです。今後も、市内イベントを含め、市内外を問わず、認知度の向上に取り組んでまいります。

No.	基本目標	施策名	担当課	質問／意見	意見・質問	回答
11	1地方に仕事をつくる	3 農業振興	農林課	意見	基盤整備にも力を入れてほしいです。遊休地が多いのと高齢化も進んでいるので。	現在7地区のほ場整備事業を国・県の補助により実施中です。他に、8地区が申請前の調査や地元の合意形成を行っております。ほ場整備事業は、必要な生産基盤及び営農環境の整備と経営体の育成・支援を一体的に実施する事業で、効率的かつ安定的な農業経営の推進が期待され、整備率が県平均を下回る本市にとっては、将来に向けて重要な事業と考えております。引き続き、効率的な農業経営と生産性の向上を推進するため、財政支援を含めて、国・県と連携し事業を実施してまいります。
12	1地方に仕事をつくる	3 農業振興	農林課	意見	JAでは現在、基幹作物の産地維持拡大を目的に新規就農者育成支援とあわせてトレーニングファームの設置に向けた準備を進めています。農業振興を進めるにあたり連携ができればと考えます。	農業振興の推進にあたり、基幹作物の担い手確保は地域の将来にとっても重要な取組であり、JAと連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。具体的な連携内容や進め方につきましては、今後、情報交換の機会をいただきながら、互いの役割や実施体制について協議してまいります。
13	1地方に仕事をつくる	3 農業振興	農林課	意見	田村市の農畜産物のブランド力を高める取組の強化も必要ではないか。	農畜産物のブランド力向上のための取組みとして、首都圏などでのイベント参加や、風評払拭を目的とした、首都圏でのPR活動を実施しており、引き続き田村市産農畜産物のブランド力強化に努めてまいります。
14	1地方に仕事をつくる	3 農業振興	農林課	意見	「新規就農者数」について、目標値を達成されたことは大変素晴らしいことだと思います。ただし、実績値の算出方法(計算式)が分かりにくいので、どのように算出しているのかご説明をお願いします。また、1年間で新規就農者数が55人増加した要因についてもお聞かせください。おおまかで構いませんので、新規就農者の年齢層や、生産している主な農作物の種類などについても教えていただきたいです。	新規就農者の実績55名は累計数となります。令和7年度単年の新規就農者数は10名となります。近年では、30代から60代まで幅広い年齢層がたむらの基幹作物であるピーマンをはじめ、夏秋野菜や畜産で就農しております。
15	1地方に仕事をつくる	4 林業振興	農林課	意見	制約については不明ですが、入札参加資格市内業者41社のみが対象だと、目標達成は難しいのでは。人材確保に関しては、「賃金」「作業内容」など先輩方を紹介し魅力を伝えてみてはいかがでしょうか？	入札参加資格を参考に市内の建築業者へ資料を送付しておりますが、送付対象事業者の業種や地区の範囲を広げるなど、補助金の活用につながる効果的な周知方法を検討し制度の普及推進に取り組んでまいります。人材確保では、先輩移住者等の生の声は移住及び就業の不安解消や意欲を高めることが期待できるため、オンラインイベントのゲストに招くなど、いただいたご意見を参考にさせていただき、林業の魅力が伝わり人材確保につながるより良い企画の開催に努めてまいります。
16	1地方に仕事をつくる	4 林業振興	農林課	意見・質問	「林業の再興を図る」という目標に対して、KPIで掲げた項目で十分といえるか。人材を確保するためには、しっかり儲かる事業フレームを構築する必要があると思うが、具体的な取組は行っているか。	林業の再興を図るため目標に掲げた項目のほかに、高性能林業機械の導入による生産性の向上や木材加工施設整備による製材品の生産拡大、未利用材等の取扱い拡充等の支援に取り組んでおります。植えて育てる林業から、魅力ある持続可能な林業とするために、今後も関係機関と連携しながら各種施策を推進してまいります。
17	1地方に仕事をつくる	4 林業振興	農林課	意見	林業に関する取り組みが達成できていなかったもので、ぜひ今年は達成してほしい。田村森林組合にあらたな木材加工場も完成したこともあり、同組合とも連携し、林業の復活とともに復興促進に尽力してほしい。	新たな製材加工拠点として木材加工施設が完成したことは、活気ある林業の復活に大きく寄与されるものであり、引き続き市内林業事業体、国や県と連携し、震災からの再生・復興と地域の発展のため林業施策を推進してまいります。
18	2 人の流れをつくる	1 移住・定住促進	企画調整課	意見	移住者の呼び込みに関しては、企業や商工団体等と連携した取組が必要。	移住には、住まいと仕事が必要ですが、仕事の部分で就労先の創出事業及び二拠点居住に係る専門複業人材活用事業により企業等と連携した取組を実施しており、住まいにおいては不動産事業者等と連携しながら住居紹介を行っているところであり、さらなる連携に向けて事業内容を見直ししてまいります。
19	2 人の流れをつくる	1 移住・定住促進	企画調整課	意見	移住・定住の促進にあたり問題となるのは、少子高齢化による人口減と税収減、他への人口流出となるであろうと思われます。旧船引高校では、田村市に協力いただき地域課題探究学習に取り組んできました。この取組は新しい学校でも引き続きしっかりと取り組んでいきます。探究のテーマについては、現在の田村市の課題を生徒に伝えた上で、生徒自ら考え実践しており、今年度も「防災・減災」「駅の魅力化・交通」「観光」「フードロス」等の班に分かれ、地域の方々とともに学ぶ中で、当事者意識や地域理解が進んでおります。このことにより、生徒が地域の担い手として自覚を持って活動したり、市外に進学しても、将来田村市に戻ったりすることが期待されます。あぶくま柏鵬高校では、「食農・六次化」「情報技術」「ビジネス」「福祉・保育」の4つの分野での先進的な学びが令和9年度から本格的に始まります。こうした専門的な学習を地域の課題とも連携させながら、引き続き教育活動を行っていく予定です。	あぶくま柏鵬高校での取組を参考にしながら、田村市出身者に郷土愛を醸成するとともに、Uターン等で地域で活躍できるような施策を検討してまいります。

No.	基本目標	施策名	担当課	質問／意見	意見・質問	回答
20	2 人の流れをつくる	1 移住・定住促進	企画調整課	意見	目標2の「移住定住」と目標3の「結婚・出産の希望をかなえる」に掛かる部分かもしれないが、田村市の移住定住策や妊娠・出産支援など、必要としている人に情報を届ける取り組みが必要と感じる。例えば、移住定住なら、他市町村の住宅メーカー・建築店と連携し、土地情報とともに田村市の移住特典・サービスを紹介するパンフレットを置いてもらう。産婦人科やクリニックと連携し、子育て支援などを紹介するなど、ターゲットを明確にしてPRしてみてもいいだろうか。	ターゲットを明確にしたPRは有効であると考えております。移住定住や妊娠・出産、子育て支援に関する情報を、必要とする方に確実に届けられるよう、関係機関との連携を含め、効果的な発信方法を検討してまいります。
21	2 人の流れをつくる	2 交流人口拡大	観光交流課	意見・質問	観光客の呼び込みについては、首都圏等の旅行者へアプローチすることが必要。他方、教育旅行の呼び込みは強化しないのでしょうか。	首都圏の旅行者への働きかけによる誘客は重要であり、インバウンド客の誘致についても、引き続き取り組んでまいります。また、教育旅行は、新規の獲得により継続的な需要が見込めることに加え、地域の歴史・文化・自然・産業などの魅力を継続的に発信できることから、学校や旅行会社への情報発信の強化に努めます。
22	2 人の流れをつくる	2 交流人口拡大	観光交流課	意見	新施設に期待がかかる所だが、足元であるあぶくま洞の展示工夫が必要だと思う。展示方法を変動させる事でマンネリ化を無くし、リピーターを狙う。例えば、teamラボとコラボし、ショー的な要素を含ませ、入洞料へ反映させて増収を狙うとか。	新施設への期待が高まる中で、あぶくま洞の展示にも継続的な工夫が必要であると考えます。特に、展示方法に変化を持たせてマンネリ化を防ぐことや、リピーターを意識した企画の実施は、集客面・収益面においても有効である認識しています。また、teamLabのような演出性の高いコンテンツとの連携は、話題性の創出や誘客につながる可能性がある一方で、入洞料への反映については、来場者の受け止め方や地域全体への波及効果とのバランスを踏まえ、検討してまいります。
23	2 人の流れをつくる	3 市の認知度向上	観光交流課	意見	「他にはない『ここだけの魅力』を明確にし、全国に発信することで～」という目的に共感いたします。一方で、全国の多くの方々にとって魅力的な何かを創造できるかどうか難しい課題になると思います。	本市には、あぶくま洞やムシムシランド、星の村天文台など全国的にもめずらしい観光施設や、豊かな自然を活用した体験事業が多くありますので、これらをさらに磨き上げ、認知度向上を図ってまいります。
24	2 人の流れをつくる	3 市の認知度向上	観光交流課	意見	地元への愛着を醸成する取組の強化がブランド力の向上につながり、認知度アップにも結びつくので、幅広く取り組むことが必要（※認知度順位の目標値が低すぎないか）。	市民が地元へ誇りを持っていただくため、現在行っている昆虫ブランディングの取組を継続的に進め、認知度向上を図ります。さらに、昆虫事業を起点に様々な産業と連携してまいります。（※認知度順位の目標は過去の実績を踏まえて設定させていただきました。）
25	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1 出会い・結婚支援	企画調整課	質問	イベントの趣旨や開催は分かるが、イベントの成果、結果など分析はされているのか。プライベートの部分もあるので難しいところもあるが、イベントにより、目的である婚姻率や出産率の向上、市内定住などにつながっているのか？	イベントの開催により、交際や結婚につながった事例が複数あり、一定の成果をあげているものと考えております。一方で、社会情勢や適齢層の意識の変化により、婚姻数や出生数は年々低下しているところであり、事業の実施により低下の食い止めを図っており、市内定住に対しては一定の効果がみられると考えております。
26	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1 出会い・結婚支援	企画調整課	質問	出会い・結婚支援事業は、地方創生の一環として多くの自治体で実施されていますが、実際にどの程度のニーズがあるのか関心があります。各イベントの参加者数はどのようになっていますでしょうか。また、そのうち田村市民の参加者は何人で、全体に占める割合はどの程度でしょうか。個人情報なので把握されていないかもしれませんが、イベントを通じてカップル成立や成婚につながった実績をご存知でしたら、その件数についても教えていただきたいです。	市主催イベントは4回、県との合同イベントを1回、計5回開催しており、男性は基本的に田村市民でした。第1回は男性7名、女性7名うち市民3名、第2回は男性8名、女性4名うち市民0名、第3回は男性8名、女性8名うち市民1名、第4回は男性6名、女性3名うち市民1名、合同イベントは男性9名、女性10名うち市民1名、です。女性の参加者のうち市民は1割程度で市内のイベント参加を遠慮していると考えております。イベントのなかでマッチングはしていませんが、結婚世話やき人への相談によりお見合いをしたのが22組、成婚が2組です。
27	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	2 妊娠・出産支援	こども未来課	質問	妊娠・出産支援として取り組まれている各種事業は、大変意義のある取組だと感じています。一方で、KPIの設定については、改善の余地があるように思います。例えば、「訪問型産後ケアの利用実績を増やすこと」自体が目的ではなく、本来の目的は、妊娠婦一人ひとりのニーズに応じた適切な支援を提供し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えることではないでしょうか。そのため、事業の成果を測る指標としては、利用件数ではなく、利用者の満足度や支援がニーズに応えられているかを把握することが重要だと考えます。例えば、利用者の多い妊娠婦医療費助成事業の申請時に、簡単なアンケート調査票を併せて配布・回収し、各種支援事業の認知度や利用状況、満足度、今後希望する支援などを把握してはいかがでしょうか。多少の事務負担は生じるかもしれませんが、実際のニーズを踏まえた事業の改善や、より効果的な支援につながるのではないかと考えます。	妊娠・出産支援においては、単に利用件数を増やすことではなく、妊娠婦の皆様一人ひとりのニーズに応じた支援を適切に届けることが重要であると認識しております。ご提案をいただきましたアンケートにつきましては、事業の成果や課題を把握する上で有効な手法の一つと考えておりますので、より実効性のある評価の在り方について検討してまいります。
28	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3 子育て支援	こども未来課	意見	KPIをもう少し増やすべきではないか。	事業の成果を適切に把握するためには、事業の目的を的確に示す指標を設定することが大切であり、事業の実態を踏まえ、必要な指標について検討してまいります。

No.	基本目標	施策名	担当課	質問／意見	意見・質問	回答
29	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3 子育て支援	こども未来課	質問	子育てに関する情報を一元化した「子育てポータルサイト」が構築され、施策内容が大変分かりやすくなった。各施策情報に対する窓口への問い合わせや相談件数の実態を問う。	子育てポータルサイトにつきましては、制度や支援内容を一覧的に確認できるようになったことで、一定の評価を得ているものと認識しております。一方で、掲載情報の見やすさや検索のしやすさ、必要な制度へのたどり着きやすさといった点では、なお改善の余地があると考えており、今後さらに分かりやすい内容となるよう工夫を重ねてまいります。各施策に関する窓口への問い合わせにつきましては、ポータルサイト開設後も大きく減少する状況にはなく、従来どおりの推移となっております。また、相談件数については、子育てに関する不安や個別事情が複雑化していることなどを背景に、年々増加傾向にあり、相談内容も経済的支援、保育、発達、ひとり親支援など、多種多様となっているのが実態です。
30	3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1 出会い・結婚支援	企画調整課	意見	婚活イベントなど、商工会青年部や青年会議所など子育て世代が主体となって企画するのはどうだろうか。実際に10年ほど前に会津美里町では、商工会青年部と農政連が連携して企画運営し、知り合いなどに参加してもらい、大きくはないが成果を上げていた。	婚活イベントを商工会青年部や青年会議所など、子育て世代に近い方々が主体となって企画することは、参加者の関心を高め、周知の面でも有効であると考えます。ご提案のような取組も参考にしながら、各団体の負担に配慮しつつ、関係団体の意見を伺って検討してまいります。
31	4 魅力的な地域をつくる	1 教育の充実	学校教育課	意見	学力向上に取り組まれる姿勢が見て取れるが、一部の生徒だけが恩恵を受ける形では全体の学力向上は図れないと思う。各個人の性格や学力の差はあるので、クラス全体で学習に取り組む雰囲気、環境をつくり田村市全体のレベルアップを期待したい。	これまでは、担任がクラス全体の学力向上に取り組み、理解に時間のかかる児童生徒の指導に多くの時間を充てておりましたが、理解の早い児童生徒が時間を持て余す傾向にありました。そのため、他自治体に先駆けて授業推進員(CCT)を配置し、理解の早い児童生徒の指導を中心に担任と連携しながら個に応じたきめ細やかな支援を行っており、クラス全体の児童生徒の学力向上に資するものと考えております。また、委員のご意見にありますとおり、クラス全体での学習に取り組む雰囲気や環境の構築は必要不可欠であると認識しており、今後も教職員や授業推進員に対する研修を適宜開催し、スキルアップに努めてまいります。
32	4 魅力的な地域をつくる	1 教育の充実	学校教育課	意見	小中学生が見学等する大学を東京大学とした理由を御教示ください。	東京大学は、日本最高峰に位置する国立大学であり、「東大10人構想」で目標としている、いわゆる難関大学のシンボリックな大学でもあることから、見学先として選定しております。本市の小中学生が、実際に東京大学を訪問し、大学教授の講義や施設見学において直接五感で感じることで、将来の自分の姿を想像する良い契機となり、より高い目標に向かって努力しようとする学習意欲の向上に資するものと期待しております。
33	4 魅力的な地域をつくる	1 教育の充実	学校教育課	質問	活きた英語を学ぶ機会の確保施策:セブ島語学研修事業の成果と今後の方向性を問う。	本事業は、本年度で3回目の事業実施となることから、直接的な効果はこれから表れてくるものと思案しておりますが、過去の研修生の多くが大学進学を目的とした高校へ進学しております。また研修生は、オールイングリッシュによる質の高い授業を受けて、リスニングやスピーキング能力が飛躍的に向上するだけでなく、日本語が通じない海外で生活する事で、国際的感覚を身に付ける良い機会となっております。毎回募集定員を上回る応募があり、中学生の本事業に対する興味関心は高く、参加に際しては英語検定の上位級取得が必要であり、積極的な検定受験に繋がっていることから、事業を継続する方向であります。
34	4 魅力的な地域をつくる	2 健康づくり・医療体制の構築	保健課	意見	オンライン診療には諸問題があり、実現にはハードルが高いと思うが、特に山間地域に居住する市民にとっては望まれるシステムではないかと思われる。処方薬を宅配できれば、診療時間と移動時間で医者と患者間で体の負担やコスト削減が期待できる。	超高齢社会の進展における移動弱者の増加を踏まえ、オンライン診療は通院負担の軽減や医療アクセスの確保に有効な手段の一つと考えております。訪問診療車両の導入や処方薬の提供についても検討しており、本市の地域特性を踏まえ、今後を見据えた医療提供体制の構築を図ってまいります。
35	4 魅力的な地域をつくる	3 地域の防災力向上	生活安全課	意見	天災は地球規模で増えているなかで、災害へのリスクも増えてきます。提案ですが市民だれもが「防災士」の資格があったらどうでしょう。減災への近道になるかもしれません。ぜひ市あげて「防災士」取得への手引きをしてみてもいい？	福島県では、地域の実情に精通した防災士を、「福島県地域防災サポーター」として登録し、マイ避難推進講習会の講師を務めてもらうなど、防災士の養成をしております。市では、防災士の取得を目指すかたには、県の事業である防災士養成講座へ推薦を行っております。
36	4 魅力的な地域をつくる	3 地域の防災力向上	生活安全課	意見	地域のコミュニティを再構築又は強化する取組も必要ではないか。	「顔の見える関係」による迅速な安否確認と救助や要配慮者(高齢者や障害者など)のサポートのためにも、地域の交流を生むイベントなどが必要と考えます。現在、地域の奉仕作業に合わせて、防災訓練など行っている地区もありますので、「ついでに防災」という考え方で、無理なく地域コミュニティ活動の中で防災に取り組んでもらうよう進めていきます。
37	4 魅力的な地域をつくる	4 生活環境の充実	企画調整課	意見	事業計画に掲げた磐越東線の団体臨時列車は観光目的であり、施策目的と合致しないとする。	団体臨時列車は、取組を広く周知することにより、利用促進及びマイルール意識の醸成を図るとともに、商工会等と連携して地域経済の活性化につなげることを目的とした施策であり、市民の日常生活を支える公共交通の確保・維持につながるものと考えております。

No.	基本目標	施策名	担当課	質問／意見	意見・質問	回答
38	4 魅力的な地域をつくる	5 市民活動の支援	企画調整課	意見	幅広く支援するならば、目標値を高く掲げ、予算も増額してはどうでしょうか。	目標値を新規事業補助金活用件数としており、毎年、地域団体が新規事業を2件創出し続けることは高い目標であると考えております。実際に予定を超える申請があった際には、予算の増額等の対応もしながら活動を支援しております。
39	4 魅力的な地域をつくる	4 生活環境の充実	企画調整課	意見	生活環境の充実の中で、磐越東線とタクシーやバスと連携した対策をさらに充実させてほしい。列車の本数が少ないが、タクシーやバスを組み合わせると便利になる、利用してみたいような事業に取り組んでほしい。	磐越東線とタクシーやバスとの連携は、移動の利便性を高める上で重要であると考えます。車社会の進展や人口減少により、公共交通の利用者は減少傾向にあり、減便も進んでいます。交通事業者や関係機関と連携し、事業を検討してまいります。